

IVR日本支部運営委員会議事録

日時： 2010年7月24日（土） 午前10時から正午まで
場所： 東京大学本郷キャンパス 法学部4号館8F会議室
出席者： 足立英彦、宇佐美誠、桜井徹、高橋洋城、瀧川裕英、角田猛之、土井崇弘、鳥澤円、
那須耕介
オブザーバー参加（（3）のみ） 施光恒
欠席： 森際康友

（1）前回の議事録承認

高橋事務局長より議事録・議事メモが配布され、出席者異議なくこれを承認した。

（2）IVR理事会およびIVR世界大会について

桜井支部長より第25回フランクフルト大会について、開催日程、プレナリースピーカー確定者等、準備状況について報告があった。

（3）第10回神戸記念レクチャーの日程・開催準備について

オブザーバーとして九州セミナー実行委員長施光恒氏の参加を仰ぎ、議論が交わされた。

まず桜井支部長より、日程表・各地実行組織の原案が配布されこれに基づいて議論が行なわれた。以下の点につき追加提案があり、了承された。

- ・原案で7月7日に設定の大阪セミナーを、7月6日に変更する。
- ・原案で7月5日に設定の名古屋セミナーを、7月4日に変更するという事でミラー教授に交渉する。

その他の日程・各地実行組織については、席上配布された日程表で確定となった。

ついで、東京、名古屋、京都、大阪、九州の各セミナーの実行委員会立ち上げ状況、および会場、コメンテーター人選・依頼状況等について報告があった。

① 東京セミナーについて、同セミナー実行委員長宇佐美委員より報告。

- ・内容について、National Responsibility の合評会、あるいは新しいペーパーについてのディスカッションのいずれかとしたい。また他会場のテーマ・方式とのバランスを考慮する必要がある。この点について、桜井支部長がミラー氏に確認の上その意向に従うことが了承された。
- ・コメンテーターについて人選・交渉状況とさらに加えるべき候補者について提案があり、了承された。

② 名古屋セミナーについて、同セミナー実行委員長土井委員より報告。

- ・コメンテーターについて、事前に提案の3名に依頼したい。
- ・内容・形式について、日本人研究者が独立したペーパーを執筆して発信するというやりかたをとる。

③ 京都神戸記念レクチャーについて、同レクチャー実行委員長桜井支部長より報告。

- ・グローバル・ジャスティスに関する最新のペーパーを用意してもらうようミラー教授に伝えてある。
- ・コメンテーターについて、事前に提案の3名の他、桜井支部長がコメンテーターとして加わり、その代わりに同氏は京都レクチャーの実行委員長を降り、かわりに那須委員が同実行委員長となることが提案され了承された。

④ 大阪セミナーについて、同セミナー実行委員長角田委員より報告。

- ・九州セミナーとの連続性を意識し「日本や非欧米社会におけるリベラルナショナリズム

の可能性」をテーマとしたい。

- ・その他については、コメンテーターの人選を含めて11月運営委員会まで検討する。

⑤ 九州セミナーについて、同セミナー実行委員長施氏より報告。

- ・大阪のテーマ設定を受け、シティズンシップの議論を中心にしたい。
- ・コメンテーターについて、事前に提案の3名と交渉予定の他、適任者をさらに探したい。
- ・会場については未確定、今後検討する。

以上の報告および提案・方針についてすべて了承を得た。

最後に、各セミナーに共通の検討課題として、以下の点が審議され確認・了承された。

- ・原案以外の実行委員について、その人選、人数、会場要員の扱い（実行委員として扱うかどうか）等は、各会場の実行委員長に任せる。
- ・神戸レクチャーの資金として学振および他の基金を確保に努め、それで補えない場合に IVR 日本支部の会計から拠出するものとする。

（4）新入会員／退会希望者の承認

- ・高橋事務局長より新入会員／退会希望者とも前回運営委員会以降の申請者はなかった旨報告があった。
- ・瀧川会計担当委員より、自然退会に該当する4名について旨報告があり、了承された。また、今年会費納入がなされない場合に自然退会になる会員4名について指摘があった。
- ・前回運営委員会より継続審議中である、退会撤回申請があったとされる件について、申請の有無・本人の意思が確認できないため、あらためて意思表示があるまでは申請はなかったものとして扱うことが了承された。また該当者に会費納入依頼は送付しないことが確認された。